



校訓：進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

# 英田っ子

学校だより 10月号

平成30年10月1日

校長 西田 素子

朝晩の風がめっきり涼しくなり、秋の気配が感じられる今日この頃となりました。運動会では、「最後まで笑顔あふれる運動会」のスローガンのもと、子どもたちは、それぞれの種目や応援、係活動に一生懸命取り組むことができました。大きな行事を通して、一人一人が真剣に活動したり、役割を果たしたりすることで、達成感を得て大きく成長する機会となりました。保護者の皆様には、雨天による延期やテント設営へのご協力、そして当日はたくさんの温かいご声援をいただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、10月は遠足や校外学習、マラソン大会、6年生の町体育大会等、行事も多く控えています。これらの行事や日々の授業が充実したものとなるよう、めあてをしっかりと持たせて指導にあたっていきたいと思います。1年の折り返しを過ぎ、これまで身に付けた力を様々な場面で発揮し「実りの秋」となるよう、ご家庭でも励ましの声かけをお願い致します。

## 【10月の目標】

学習：「1回で伝える」「もう一度言えるように聴く」

→運動会の応援や集団演技では、どの子も大きな声が出ていました。教室でも、その場にいる全員に1回で伝わるように、文末まではっきり話ができるように指導します。

生活：「進んであいさつをしよう」「服装を整えよう」

→10月9日(火)より、衣替え完全実施となります。名札の着用および女子のリボン着用に、ご協力ください。また、適切な服装として、シャツ出しやズッパは禁止で指導を行っています。



## 家庭学習の習慣を確実に身に付けよう！

家庭学習は、学校で学習したことを復習することで、内容の定着を図ったり、翌日の授業に自信と意欲を持って参加できたりする効果が期待できます。しかし、7月に実施した保護者アンケートでは、「宿題を含めて、学年×10分の家庭学習の習慣が身に付いている」の項目について、A+Bの肯定評価は79%と昨年を少し下回りました。また、児童アンケートでは、89%の児童が「家庭学習をしている」と答えており、両者の結果の開きから、習慣がまだ身に付いておらず、ご家庭での促しのお力を借りて宿題を提出している児童もいるのではないかと考えました。また、家庭学習ができていない児童は、基礎学力とともに学習意欲に課題があるという実態も見えてきました。

そこで、10月9日(火)より「宿題完成ルーム」の取組を始めることにしました。用事のため時間がなかったり、体調が悪くてできなかったりする場合もあると思います。そんな時は、翌日朝休みに教室でさせますが、長休みや昼休みになっても未提出の場合、対象児童を2階少人数教室に集めて指導します。家庭学習の習慣が身に付くよう、そして静かな環境で集中して取り組めるよう、引き続きご家庭でもご協力をお願い致します。

## 【翌日の準備として家庭で習慣にしたいこと】

- ①宿題をする。(下敷きやミニ定規を使いましょう)
- ②筆箱の中味を整える。(鉛筆をけずり、消しゴムやミニ定規なども忘れずに入れましょう)
- ③持ち物をそろえる。  
※ランドセルの中の教科書やノートなどを一度全部出し、時間割や連絡帳で確かめながらそろえると忘れ物がなくなります。「入れたつもり」にならないようにしましょう。
- ④ハンカチやティッシュ、安全帽子をそろえる。
- ⑤お便りなどを、家の人に渡す。

※学校からのお知らせが確実に届くように、宿題のプリントを紛失しないように、お便り袋を必ず持たせてください。

